



特定非営利活動法人そばネットジャパン

第16回通常総会議案(議決後)

令和3年6月6日(日)

埼玉県県民活動総合センター

次 第

開 会

代表理事挨拶

議長選出

議事

第1号議案	令和2年度活動報告(案)	1
第2号議案	令和2年度活動決算報告(案)・監査報告	8
第3号議案	役員改選(案)	11
第4号議案	令和3年度活動計画(案)	13
第5号議案	令和3年度活動予算(案)	20

その他

資料

団体正会員名簿	23
賛助会員名簿	24

閉会

第 16 回通常総会開会あいさつ要旨

代表理事 阿 部 成 男

◆第 14 回までは午前には総会、午後は居酒屋を借り切り出席者による懇談会を開催し、年一度の楽しい総会でしたが、昨年、そばネットジャパン船出に相応しい賑やかな総会を開催するはずが、コロナ禍で役員と僅かの会員の出席で書面表決による議案を可決しましたが、今回も同様になるとは思いもかけないことでした。

緊急事態宣言やまん延防止重点措置が実施されており、飲食店を中心に厳しい営業自粛、さらに、県境を跨ぐ移動、不要不急の外出の自粛など多岐にわたり不自由な生活を余儀なくされておりますが、重症者数が依然として減少せず、医療体制のひっ迫などが解消されるまで国民全体で感染防止対策を継続する必要があります。

◆このような厳しい環境の中でのジャパン始動でしたが新規事業立ち上げの準備も進み、交流事業として新規の「そば栽培体験プログラム」の実施、第 2 回目となる「全日本そば打ちマスタース大会」をコロナ対策を講じて実施しました。この大会を成功させた実績がその後のコロナ禍での事業実施に大きな収穫となったものです。

◆事業の 3 本柱のうち手打ちそば伝道師制度については、何とか令和 2 年度中に技能検定会を開催すべく準備を進め、9 月には「制度実施に不可欠な「手打ちそば伝道師制度・そばづくりリスト検定規程、技能検定基準要項等を理事会で議決、検定規定に基づき 9 月、10 月に「師範、准師範、技能検定員任用特別研修会」を開催し 40 人の師範等を任命するとともに、今後、技能検定制度を専門家の立場から支えていただくプロのそば打ち家 5 人を「特任師範」として委嘱しました。

◆さらに、並行してそば学検定を立ち上げるために、そば学検定員会を設置し、そば学に関する専門家 6 人をそば学検定委員として委嘱し、テキストの執筆を依頼しております。

◆以上のように新規事業立ち上げの準備が順調に進み、そばづくりリスト技能検定会を 3 回開催し、編入者を含めて 435 人の段位認定者を輩出することができました。事業全体の詳細につきましては本日の総会で詳しい報告がありますので割愛させていただきますが、コロナ禍の中であっても役員各位、多くの会員の皆様のご支援によりそばネットジャパン最初の年度を大きな成果で飾ることができ深く感謝をしております。

◆さて、会員数についてですが、(一社)全麵協のあからさまなそばネットジャパン敵視の表明があって、会員の皆様には大きな不安を抱き混乱も生じたこともあったかと思えます。

今年の 1 月から全麵協を選択するとしてそばネットジャパン退会の届け出が団体正会員、個人正会員ともにありましたが、団体正会員は退会より新規入会が上回り 51 団体、個人正会員はほぼ同数となっています。

◆ある意味では、全麵協の敵視方針への転換で、真にそばネットジャパンでの活動を望む会員のみとなり、一層強い絆の団体として活発な活動が期待できるものと確信をしており、改めて引き続きの、新規の会員に感謝の気持ちでいっぱいです。

◆コロナ禍は、ワクチン接種が進んでいくことによって感染拡大が縮小、収束に向かうことが期待されておりますが、変異株の出現、特に新型コロナウイルスは冬場が最盛期のインフルエンザと違って地域、季節を問わず通年感染対策を怠れば瞬く間にパンデミックとなるとされており、効果的な治療薬もない中、当分は感染防止対策が必要と思われれます。

◆コロナ禍が長引き、社会経済活動が滞り、経済格差、教育格差、少子化の進展などが顕著

になり、緊急事態宣言の拡大、長期化による自粛疲れなど課題が山積しておりますが、その中でも文化活動の停滞による影響が指摘されています。

◆京都大学前総長でゴリラ専門の人類学者の山極寿一氏は、朝日新聞の科学季評「文化の力奪うオンライン」で、人類が長い進化の過程で脳の大きさをゴリラの3倍にした要因として、脳の大きさは人類が暮らす集団の規模に応じて増えたとし、身体の動きを他者に同調させ、リズムに乗りながら全体に調和させる音楽的なコミュニケーションだと。◆私たちが日々さまざまな集団を遍歴し、コンサートやスポーツを見て見知らぬ人と心身をふるわすことができるのは、人間だけが持つ不思議な同調能力のおかげだ。◆人が集まり共感するにはオンラインだけでは不可能で、コロナ禍でも社会的距離を適切に取りながらも、私たちは「集まる自由」駆使して社交という行為を続けるべきだと思う。と提唱しています。◆また、音楽家の岡田暁生氏のお話「音楽は空気の振動で伝わり、生演奏などで多くの人が共有・感動することができるが、オンラインでは不可能であり、コロナ禍でも工夫して実施することが大切だと訴えていました。

◆共通しているのは「感動を共有すること」ですが、私たちの活動にもあてはまります。そば祭りではそば打ち、茹で、配膳、大声で呼び込みなどを分担し喜びを共有し、そば打ち大会では、勝ち負けではなく技の競い合いに、また、友人の応援にハラハラ、共同でのそば栽培などいくらでもあります。

◆まして、私たちの日々の活動そのものがそば食文化の継承・発展のための文化活動なのです。コロナ禍は未曾有の逆境と言えますが、逆境はチャンスでもあります。コロナ禍だからこそ「工夫を重ねて集まる自由を駆使する」ことでやがて訪れる「アフターコロナ」を輝かしく迎えることができることになります。

◆私たちの活動は、異なるそば文化を認め合いながら「新しいそば文化を創造」し、異なる意見・立場を尊重する「新しい交流の輪」を広げることです。その実現は容易ではないと思いますが、全会員が誇りと自信をもって臨むことで大きく前進することができると思っています。

第 1 号議案

令和 2 年度活動報告書(案)

総括

令和 2 年 4 月 1 日 NPO 法人そばネット埼玉から NPO そばネットジャパンへ新たな旅立ちが始まりました。

折しも新型コロナウイルス感染拡大の兆候が顕著になって、2 月 28 日から全国小中高一斉休校が始まり、国民が経験したことのない「緊急事態宣言」が令和 2 年 4 月 7 日に発令されました。

密閉、密集、密接の所謂「3密」を避けることが求められ全国民が外出、集会、対話など社会経済活動に必要な大切な要素の自粛を余儀なくされた時期でした。

そばネットジャパン理事会は対面での会議が開けない状況でメールによる頻繁な連絡を取り合いながら、そばネットジャパンの新しいロゴマークの選定、パンフレットの作成、ホームページの刷新などを進め、現会員及び全国のそば打ち愛好団体へ送付するとともに、これから多くの情報を発信するホームページを立ち上げ、新規事業等そばネットジャパンが活発な活動を推進する準備作業を続けてまいりました。

以下に主な活動の結果を報告します。

会員数の状況について

NPO 法人そばネット埼玉の年度末団体正会員数は 47 団体、個人正会員数は 160 人、賛助会員数は 7 団体でありました。

その後、新規入会、退会があつて現在団体正会員 51 団体、個人正会員 180 人、賛助会員 7 団体となつていて会員数としては微増となっています。

(一社)全麵協が、当初はそばネットジャパン両団体加入を認めていたのが、昨年 11 月に突然そばネットジャパン会員の(一社)全麵協加入は認めない通知を発出し、当法人として 12 月 4 日に、(一社)全麵協理事長通知文の内容は(一社)全麵協の定款や法令に違反する恐れがあり、排除をやめて協調して日本のそば食文化の発展に寄与することを提言しました。

その結果、12 月 10 日に(一社)全麵協理事長通知として、「定款や法令違反となる扱いはしない」との再表明がありましたが、当法人理事会は 12 月 31 日に、「排除の本質は変わらないことから、これ以上の意見表明は行わず、当法人は設立以来、会員の入退会、活動は自由としてあり、団体の選択も会員の自主判断に委ねる。」として全会員に周知したものです。

この度の年度替わりに、新規入会団体正会員が退会した団体正会員を上回り、今まで空白であった北海道と群馬、東京に新規団体が誕生したことは、全国組織への発展の大きな一歩となったと受け止めています。

今後とも、全国のそば打ち愛好者にとって魅力ある事業を展開しながら交流の輪を広げてまいります。

交流事業について

基本は、そばネット埼玉 15 年の蓄積を活用しながら新規事業を創出していくこととなり、最初の交流事業として第 4 回全日本さらしなそば打ち名人大会を 6 月に開催する予定でしたが、コロナ禍が治まる気配がなく、安全優先で中止としました。

このころ、国は、「新型コロナウイルス感染拡大防止対策が長期化することは避けられず、

引き続き感染防止に努めながら社会・経済活動を続けていく必要があるとした、所謂 with コロナの方針を打ち出しました。

したがって、理事会は「NPO法人であるそばネットジャパンは日本の伝統食文化を代表するとも言われるそば食文化の発展・継承に寄与する活動であり、誇りをもって感染防止対策を講じて無理のない範囲で事業を展開することとしました。

(1) 「そば栽培体験プログラム」

まず手始めに新規事業として、「そば栽培体験プログラム」を立ち上げました。

私たちはそば打ち愛好者であり、そば粉を使ってそばを打ち、そば料理を作って美味しくいただいています。そのそば粉はどうやって栽培され、製粉されて“そば粉”になるのかを自らが体験してみることで、ソバ栽培に関わる生産者や製粉業者の苦労、食材の大切さを実感することで手打ちそばに対する愛着が増すものです。

今回、直轄事業として埼玉県桶川市の圃場、さらに、会員主催・そばネットジャパン後援の埼玉県狭山市の圃場の2か所の開催となりました。

小学生を交えた家族連れで種まき、草取り、お花見、刈り入れ、脱穀、製粉、そば打ちまで4か月にわたり感染対策に配慮しながら完結することができました。

【直轄開催】

圃場 埼玉県桶川市加納 681 番地先の休耕地

樋口正一氏(そばネットジャパン団体正会員・圏央手打そばクラブ会長)が環境整備として桶川市から管理を依頼されている圃場の一部5アール

	日程	作業内容	参加者
第1回	8月 8日(土)	種まき	35名
第2回	8月23日(日)	発芽確認	25名
第3回	9月18日(金)	除草作業	23名
第4回	10月 3日(土)	ソバの花鑑賞会	28名
第5回	10月18日(日)	収穫作業	37名
第6回	10月31日(土)	脱穀作業	38名
第7回	11月29日(日)	製粉作業&そば試食会	37名

※各回とも圏央手打そばクラブのスタッフ10名ほどが参加しました。

【会員主催】

主催会員 西部蕎麦連(所沢市)
圃場 狭山市北入曽 地区

作業内容	実施日	参加者数	指導員数	並行事業
播種作業	8月22日(土)	19	2	
発芽確認	9月5日(土)	14	2	そば食事会
ソバ花確認鑑賞	10月10日(土)	12	3	元気鍋(そば団子)
収穫作業	11月 8日(土)	14	3	
脱穀作業	11月15日(土)	13	3	
試食会	12月 5日(土)	10	2	そば打ち

(2) 第4回全日本さらしなそば打ち名人大会の開催

令和2年6月開催としていたが、4月に新型コロナウイルス感染拡大による初めての緊急事態宣言発出があり、全国的に自粛が続く中でやむを得ず延期としました。

(3) 「第2回全日本そば打ちマスタース大会」の開催

シニア大会、達人大会から発展してトータル7回目となる「第2回全日本そば打ちマスタース大会」を、前回まで1組12人で最大60人実施していたものをコロナ対策で1組8人4組として募集したところ、60歳から83歳まで定員満杯の32人の出場となり、熟達者同士の熱気にあふれた大会となりました。

- 1 開催日 令和2年9月27日(日)
- 2 会場 埼玉県県民活動総合センター
- 3 出場者数 32人

年齢	60～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～
クラス	SJ	S	SS	G	GG	GGG
人数	13	17	10	2	0	0

4 入賞者

Gの部

- 優勝 安里為任(長野県諏訪市 信州そばアカデミー)
- 準優勝 佐藤勝雄(千葉県野田市 杉戸麺打ち愛好会 小川道場)

SSの部

- 優勝 上石良雄(埼玉県秩父市 秩父そば打ち倶楽部蕎楽館)
- 準優勝 相原喜代治(千葉県我孫子市 我孫子そばの会)
- 第3位 長嶋光行(茨城県常陸大宮市 弥七そばの会)
- 優秀賞 松岡八彦(埼玉県熊谷市 妻沼そば打ち会)
- 優秀賞 神田武紀(栃木県宇都宮市 とちぎ蕎和会)

Sの部

- 優勝 原口玉枝(埼玉県熊谷市 NPO法人熊谷そば打ち会)
- 準優勝 小野常夫(福島県郡山市 小原田そば同好会)
- 第3位 齋藤正雄(茨城県古河市 個人正会員)
- 優秀賞 金子雄二(埼玉県三郷市 さいたま蕎麦打ち倶楽部)
- 優秀賞 新崎照幸(埼玉県所沢市 常路麺打ち愛好会)

SJの部

- 優勝 本間 昇(栃木県益子町 下野そばの会)
- 準優勝 阿部成史(栃木県宇都宮市 下野そばの会)
- 第3位 石川利行(栃木県鹿沼市 下野そばの会)
- 優秀賞 田中憲一(埼玉県久喜市 久喜そば倶楽部)
- 優秀賞 岸 正明(埼玉県所沢市 所沢蕎麦打ち会)
- 優秀賞 中村俊一(埼玉県久喜市 久喜そば倶楽部)
- 優秀賞 千川重之(群馬県渋川市 渋川そば打ち倶楽部)

(4) 第8回全日本創作そば料理コンテストの開催

例年2月11日に開催しているそば料理コンテストは、会場となる調理室が出品者とアシスタントで密になり、さらに、感染拡大の大きな要因とされるマスクを外しての試食

が必須であることから、コロナ禍が治まらない昨年度は中止としました。

(5) 第 10 回会員そば打ち対抗選手権大会の開催

毎年度末の恒例となっている「会員そば打ち対抗選手権大会」は 2020 年 3 月第 10 回大会がコロナ禍で中止となっていたのを改めて 3 月 28 日に開催しました。

第 2 回目の緊急事態宣言は解除されたものの感染拡大は高止まりの状態であり、濃厚接触とならざるを得ない団体戦、ペア戦は行わず個人戦だけを開催しました。

粗挽き十割、粗挽き二八、郷土そばの 3 種目を熱気あふれる 30 人の出場者が揃い、特に、そばづくりスト五段位課題の郷土そばは半数近くの 13 人が 1 本棒丸延しなどにチャレンジした今までにない楽しい大会となりました。

- 1 開催日 令和 3 年 3 月 28 日(日)
- 2 会場 埼玉県県民活動総合センター
- 3 出場者数 30 人
- 4 入賞者

【粗挽き 10 割】

優勝 小林秀美(杉戸麺打愛好会 小川道場) **準優勝** 原 隆(NPO 法人熊谷そば打ち会) **第 3 位** 新寄照幸(常路麺打ち愛好会)

優秀賞 神田武紀(とちぎ蕎麦和会)、野川いね子(分桜流・彩次郎蕎麦打ち会)、野川好廣(分桜流・彩次郎蕎麦打ち会)

チャレンジ賞 小野常夫(そば塾花かつみ)

【粗挽き二八】

優勝 村越啓子(杉戸麺打愛好会 小川道場) **準優勝** 小山航太(杉戸麺打愛好会 小川道場) **第 3 位** 相原喜代治(個人正会員)

優秀賞 廣木光義(個人正会員)、渡部隆夫(分桜流・彩次郎蕎麦打ち会)、鈴木雅之(常路麺打ち愛好会)

【郷土そば】

優勝 梶川光二(分桜流・彩次郎蕎麦打ち会) **準優勝** 柴崎友子(杉戸麺打愛好会 小川道場) **第 3 位** 川鍋敏雄(杉戸麺打愛好会 小川道場)

優秀賞 岸 正明(所沢蕎麦打ち会)、上石良雄(秩父そば打ち倶楽部 蕎麦館、小島 潔(杉戸麺打愛好会 小川道場)

チャレンジ賞 浜崎正子(杉戸麺打愛好会 小川道場)、渡部千代子(杉戸麺打愛好会 小川道場)、干川重之(洪川そば打ち倶楽部)

そばづくりスト技能検定について

- ・ 技能検定関係規程の整備
検定会を実施するには、検定の意義、師範、検定員制度及び検定基準の整備が必要であり理事と会員で構成する「技能検定部会」を設置して検討を進め、9 月の理事会で議決し、HPで公開しました。
- ・ 特任師範、師範、准師範、技能検定員の委嘱又は委任
そばづくりスト技能検定を発展させていくには、そば打ち技能を指導するそば打ちの技

能、知識に優れた師範制度を確立する必要がありますが、この制度の草創期の特例として、(一社)全麵協の四段、五段位で全国審査員又は地方審査員としての実績のある方でこの制度の主旨を理解いただいた方を特別講習会を開催して師範、准師範、技能検定員として62人を任命しました。

さらに、そば打ち技能及びそばに関する専門知識を有する下記の5名の方を特任師範として委嘱しました。

根本忠明氏、根本和明氏(足利蕎遊庵)、益子正巳氏(手打ちそば満志粉)、宮田優一氏(そば処山水)、山口輝文氏(戸隠そば山口屋)

- ・ 師範、准師範、技能検定員研修会の開催
特任師範を講師として任用特別研修会を3回、師範・准師範研修会を2回、さらに、技能検定員研修会を1回開催して、12月から開催される技能検定会に備えました。
- ・ 技能検定会の開催

(1) 第1回そばづくりリスト技能検定会 in 沼田

記念すべきそばネットジャパン最初の技能検定会は12月6日(日)、群馬県沼田市で沼田そばの会(宮田優一会長)開催です。

32人中19人が初段受検者となったことは、群馬県におけるそばづくりリストの拡大に大きな展望を期待できる検定会となりました。

- 1 開催日 令和2年12月6日(日)
- 2 主催 沼田そばの会
- 3 会場 沼田市役所多目的ホール
- 4 受検者数 初段19人、二段10人、三段3人 計32人
- 5 合格者数 初段19人、二段10人、三段3人 計32人

(2) 第1回そばづくりリスト技能検定埼玉大会

そばネットジャパン直轄の検定会として募集をしたところ、受検希望者が定員64人を大幅に超えて98人となり、急遽、準備日を検定日として3日間開催することになりました。

開催1週間前に埼玉県を含む1都3県に第2回目となる緊急事態宣言が発令されましたが、会場の県有施設が使用を認めたことで、より感染防止対策を強化して開催しました。

- 1 開催日 令和3年1月15(金)、16(土)、17日(日)
- 2 主催 NPO法人そばネットジャパン
- 3 会場 埼玉県県民活動総合センター
- 4 受検者数 15日(金) 初段4、二段3、三段5、四段15 計27人
16日(土) 初段4、二段6、三段14、四段7 計31人
17日(日) 初段2、二段4、三段5、四段12 計23人
- 5 合格者数 初段10、二段13、三段24、四段29 計76人

(3) 第2回そばづくりリスト技能検定埼玉大会

今年度最後となる直轄開催は、やはり募集定員(64名)を上回る72名の受験希望者となりました。

1月に4都県に出されていた緊急事態宣言期間が2月末まで延長されていたのが、さらに2週間延長されこの大会が宣言期間中になりましたが、施設側も貸し出しを認め、受検者、スタッフがより感染防止策を徹底した上で開催しました。

- 1 開催日 令和3年3月13(土)、14日(日)
- 2 主催 NPO法人そばネットジャパン
- 3 会場 埼玉県県民活動総合センター
- 4 受検者数 13日(土) 初段8、二段9、三段17、四段2 計36人
14日(日) 初段6、二段2、三段4、四段24 計36人
- 5 合格者数 初段14、二段11、三段19、四段20 計64人

そばづくりリストそば学検定について

そばづくりリスト検定制度は、多様なそば文化を包含し、郷土そば、さらしなそばも含めた総合的な技能を学び、さらに、そば栽培、製粉から、歴史、文化などの学問を学ぶことによって、バランスのとれたそばづくりリストを育成することが目的であります。

ただ、技能についてはそばネット埼玉時代に(一社)全麺協の段位認定会を15年にわたり開催していた実績があり、目的、主旨は異なり、当然検定基準も独自のものであるものの、段位認定会の運営という点でのノウハウは十分で、前述のとおり円滑に検定会を開催することができています。

しかしながら、そば学検定となると前例もないことから、関係の学識経験者の協力をいただきながら進めていくこととなります。

さらに、学士、修士、博士の各号を授与するには最低3年の期間が必要となるもので、正直、試行錯誤の連続も覚悟しております。

幸い、そばネット埼玉が「手打ちそばアカデミー」を2007年から38回開催し、そば学に関する講師としてご協力をいただいている著名な学識経験者の方々に支援を依頼したところ、現在まで6人の方をそば学検定委員として委嘱させていただくことができました。

現在、各委員にテキスト原稿の作成をお願いしていて近く編集に入れるところまでできていますので、令和3年度7月ごろ受検要項の配布を目指しております。

そばパートナーズ顕彰制度について

会員がそばづくりリストになるために技能検定やそば学検定を受検するほか、直轄や団体正会員主催のそばに関する活動に参加することは、多くのそば仲間との交流の機会を得ることになり、さらに、そばネットジャパンの目的であるそば食文化の継承・発展に寄与する文化活動であります。

その個々人の活動に単位を授与し、一定の単位数に応じて顕彰する「そばパートナーズ顕彰制度」の運用を開始しました。

その単位を記録する「そばパートナーズノート」は会員経費負担を軽減する目的で必要な用紙は、HPからダウンロードして印刷する方式としました。

令和2年度末までの単位数に応じて6月の総会で顕彰することとします。

理事会、評議員会の開催について

総会に次ぐ権能を有する理事会は理事、監事で構成し、役員間の意思の疎通を図ること及び事業運営等に迅速に対応するため原則月 1 回開催をまいりました。

ただ、この 1 年はコロナ禍でもあり、9 月 12 日開催のそばづくりスト検定規程等メール等のやり取りでは十分な議論が尽くせない審議以外は密になる対面理事会は避けて、メール等インターネットを活用した理事会とし、計 14 回開催しました。

メールでの理事会は提案議案に対する意見交換で時間を要することが多く、HPに掲載している議事概要報告は数日間のやり取りをまとめたものになっていますので、実質年間を通して意見交換をしており、まとまった都度HPに掲載したものです。

また、当法人は、最高意思決定機関の総会を補完し、より、開かれた事業運営を推進するため、団体正会員の代表を評議員と位置づけ年 1 回以上意見交換の場を設けていました。

この評議員会は交流の場としての位置づけもあるため、何とか、対面で開催する機会を待っていましたが、現在のところ、むしろコロナ禍は治まるどころか歯止めが利かないような状況であり、総会の前に開催するにはメールによる会議とならざるを得ないかもしれません。

いずれにしても、当法人は風通しの良い会員にとって開かれた組織であり、今後とも理事会等の情報をきめ細かく公開してまいります。

第2号議案

令和2年度 NPOそばネットジャパン 活動決算報告書(案)

令和2年4月1日 から 令和3年3月31日

I 収入の部

(単位:円)

勘定科目			令和2年度	令和2年度	差額	付 記
大科目	中科目	小科目	予算額	決算額		
1 会費収入						
団体会員会費			500,000	500,000	0	50団体
個人会員会費			360,000	360,000	0	180個人
賛助会員会費			35,000	35,000	0	7団体
会費収入計			895,000	895,000	0	
2 事業収入						
総会収入			0	0	0	
伝道師制度	技能検定	1回技能検定会	774,000	631,000	143,000	受験者87人 初段～四段
		2回技能検定会	774,000	471,360	302,640	受験者72人 初段～四段
		3回技能検定会	1,116,000	0	1,116,000	
	小計		2,664,000	1,102,360	1561640	
	研修会		0	1,019,000	-1,019,000	師範等特別研修会3回 師範等研修会2回 検定員研修会1回
	学術検定		1,000,000	0	1,000,000	
	段位認定		1,000,000	1,621,000	-621,000	技能検定会2回 沼田技能検定会 師範等特別研修会 特例編入
計			4,664,000	3,742,360	921,640	
交流事業	手打ちそばアカデミー		450,000	0	450,000	
	手打ちそば指導者養成講座		3,456,000	1,337,000	2,119,000	Ⅱ期再開～4期中断(1月後半、2月、3月)
	全日本さらしなそば打ち名人大会		0	0	0	中止
	全日本そば打ちマスタース大会		480,000	295,580	184,420	参加者32人 宿泊2人
	全日本創作そば料理コンテスト		60,000	0	60,000	中止
	会員対抗そば打ち交流大会		420,000	214,100	205,900	参加者30人×7,000円 出店料1店
	県民活動総合センターイベント		300,000	0	300,000	中止
	地域交流会		0	108,500	-108,500	桶川ソバ栽培体験参加料37人
	そば粉等の販売		3,000,000	1,483,706	1,516,294	会員 指導者養成講座 マスタース大会
	道具等の販売		900,000	643,700	256,300	ハンビ-麵棒262本
	図書等の販売		700,000	37,200	662,800	技能研修用DVD10式 ハートナスノト6冊
計			9,766,000	4,119,786	5,646,214	
事業収入計			14,430,000	7,862,146	6,567,854	
3 助成金収入			0	2,100,000	-2,100,000	持続化給付金6/26給付(経済産業省) 埼玉県NPO助成金3/31給付
4 寄付金収入			0	0	0	
5 繰入金			250,000	241,366	8,634	電話料4-3月分 コンテナ倉庫賃料4-3月分 廃棄物処理料分担金8-3月分
6 雑収入			20,000	20	19,980	預金利息
当期収入合計 (A)			15,595,000	11,098,532	4,496,468	
前期繰越収支差額 (B)			2,376,463	2,376,463	0	
収入合計 (C)=(A)+(B)			17,971,463	13,474,995	4,496,468	

II 支出の部 (1/2)

勘定科目			令和元年度 予算額	令和2年度 決算額	差額	付 記
大科目	中科目	小科目				
1 事業費						
	総会		0	11,720	0	会場費、食事代
伝道師制度	技能検定	1回技能検定会	480,000	537,516	-57,516	県活施設利用料 検定員交通費20人 道具賃貸料 雑費等
		2回技能検定会	480,000	440,171	39,829	県活施設利用料 検定員交通費10人 道具賃貸料 雑費等
		3回技能検定会	480,000	0	480,000	
	小計		1,440,000	977,687	462,313	
	研修会・部会		0	1,498,645	-1,498,645	師範特別研修会 師範研修会 検定員研修会 技能検定部会等
	学術検定		300,000	172,075	127,925	そば学検定部会 交通費等
	段位認定		100,000	22,980	77,020	認定証印刷・送付料等
計			3,280,000	2,671,387	667,258	
交流事業	手打ちそばアカデミー		270,000	0	270,000	
	手打ちそば指導者養成講座		2,300,000	526,398	1,773,602	コロナ対策費 講師交通費 雑費等
	全日本さらしなそば打ち名人大会		0	0	0	中止
	全日本そば打ちマスタース大会		480,000	516,163	-36,163	県活施設利用料 講師報酬 交通費 道具賃借料 雑費等
	全日本創作そば料理コンテスト		120,000	0	120,000	中止
	会員対抗そば打ち交流大会		500,000	500,959	-959	県活施設料 交通費 道具賃借料 前年度参加料払戻(295千円)等
	県民活動総合センターイベント		280,000	0	280,000	中止
	地域交流		0	184,706	-184,706	屋食代44人分、緑茶48本、会場使用料
	そば粉等の仕入		3,540,000	2,155,761	1,384,239	4-3月分(そば粉1571k 中力粉671k 打粉995k さらしな110k)
	道具等の仕入		580,000	986,600	-406,600	ハンビ-麵棒800本(280本豊蔵へ原価渡し)
図書等の仕入		200,000	52,470	147,530	研修会DVD製作費	
計			8,270,000	4,923,057	3,346,943	
そばロスZERO推進			20,000	0	20,000	
事業費計			11,570,000	7,606,164	3,963,836	

II 支出の部 (2/2)

勘定科目			令和元年度 予算額	令和2年度 決算額	差額	付 記
大科目	中科目	小科目				
2 管理費						
	事務所賃借料		540,000	540,700	-700	4-3月分 事務所分担金 コンテナ倉庫賃料
	旅費交通費		400,000	225,120	174,880	法務局・群馬・戸隠等出張費 役員交通費(総会19人 上期分22人)
	光熱水費		75,000	52,132	22,868	4-3月分 分担金
	廃棄物処理料		92,400	92,400	0	4-3月分
	備品		0	0	0	
	リース料		0	83,160	-83,160	4-3月分 プリンター
	消耗品費		800,000	1,096,669	-296,669	Dropbox使用料3年5人分 SNJデザイン・パンフ作製 弥生会計ソフト購入 印鑑作製 アルコール消毒液 Q&A作成 商標登録出願電子化料 プリンター消耗品等
	手数料		100,000	65,104	34,896	4-3月ビジネスダイレクト 口座振込手数料
	通信費		300,000	298,763	1,237	固定電話、携帯4-3月分 FAX回線利用料4-3月分 宅配 切手代等
	税理士報酬		212,000	341,000	-129,000	報酬4-3月分 令和元年度決算書作成費(7.7万円)
	保険料		30,000	54,607	-24,607	団体障害保険 賠償責任保険 自動車保険分担金
	日当		1,200,000	1,429,410	-229,410	4-3月分(事務局員4人)
	会議費		60,000	63,010	-3,010	監査会議 役員会
管理費計			3,809,400	4,342,075	-532,675	
3 負担金等						
	商店会会費		10,000	10,000	0	令和2年度分
負担金計			10,000	10,000	0	
4 交際費			30,000	39,233	-9,233	土産代(群馬・戸隠・八尾) 香典・御花代
5 租税公課						
	法人税		0	0	0	
	法人県民税		20,000	20,000	0	令和元年度分
	法人市民税		50,000	50,000	0	令和元年度分
	消費税		0	-115,494	115,494	令和元年度分
	源泉所得税他		50,000	198,499	-148,499	講師報酬 商標出願印紙代 SNJ登記印紙代
租税公課計			120,000	153,005	-33,005	
6 返還金			0	0	0	
7 予備費			0	0	0	
当期支出合計 (D)			15,539,400	12,150,477	3,388,923	
当期収支差額 (E)=(A)-(D)			55,600	-1,051,945	1,107,545	
次期繰越収支差額 (F)=(C)-(D)			2,432,063	1,324,518	1,107,545	
支出合計 (D)+(F)			17,971,463	13,474,995	4,496,468	

F=現在残高

令和3年度
特定非営利活動法人そばネットジャパン
監査報告書

令和3年5月31日、代表理事から提出された活動決算報告書、諸帳簿、関係書類を監査しましたところ、全て適正に執行されているものと認められましたことを報告します。

令和3年5月31日

監事 小森 康弘 

監事 鈴木 幹男 

**特定非営利活動法人そばネットジャパン
令和3年度・4年度役員改選(案)**

50音順

	役名	氏名	所	属	摘	要
新任	理事	浅見周司	つくば蕎麦愛好会			
重任	〃	阿部成男	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心			
重任	〃	飯田良男	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心			
重任	〃	生沼聖司	せいち庵そば打ち倶楽部			
重任	〃	小川伊七	杉戸麺打愛好会小川道場			
新任	〃	荻原武雄	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心			
新任	〃	折笠政弘	そばリンク十勝			
新任	〃	春日良一	蕎麦道楽 野田弐八会			
重任	〃	菅野 博	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心			
重任	〃	小島 潔	杉戸麺打愛好会小川道場			
重任	〃	小森康弘	みや麺友会			
重任	〃	小山周三	いるま蕎麦打ち倶楽部			
重任	〃	島村良三	妻沼そば打ち会			
重任	〃	新寄照幸	常路麺打ち愛好会			
重任	〃	高橋侑一	NPO法人熊谷そば打ち会			
重任	〃	田中憲一	久喜そば倶楽部			
重任	〃	田中正美	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心			
新任	〃	中野政光	あるよ馬追			
新任	〃	平石久夫	小山手打ちそばの会			
重任	〃	渡部隆夫	分桜流・彩次郎蕎麦打ち会			
新任	監事	秋谷信一	浦和そば研究会			
重任	〃	鈴木幹男	分桜流・彩次郎蕎麦打ち会			

理事定数20人中20人

特定非営利活動法人そばネットジャパン
令和3年度・4年度役員改選に伴う新旧役員(参考)

50音順

	役名	氏名	所	属	摘要
新任	理事	浅見周司	つくば蕎麦愛好会		
重任	〃	阿部成男	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心		
重任	〃	飯田良男	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心		
重任	〃	生沼聖司	せいち庵そば打ち倶楽部		
重任	〃	小川伊七	杉戸麺打愛好会小川道場		
新任	〃	荻原武雄	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心		
新任	〃	折笠政弘	そばリンク十勝		
新任	〃	春日良一	蕎麦道楽 野田弐八会		
重任	〃	菅野博	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心		
重任	〃	小島潔	杉戸麺打愛好会小川道場		
重任	〃	小森康弘	みや麺友会		
重任	〃	小山周三	いるま蕎麦打ち倶楽部		
重任	〃	島村良三	妻沼そば打ち会		
重任	〃	新寄照幸	常路麺打ち愛好会		
重任	〃	高橋侑一	NPO法人熊谷そば打ち会		
重任	〃	田中憲一	久喜そば倶楽部		
重任	〃	田中正美	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心		
新任	〃	中野政光	あるよ馬追		
新任	〃	平石久夫	小山手打ちそばの会		
重任	〃	渡部隆夫	分桜流・彩次郎蕎麦打ち会		
新任	監事	秋谷信一	浦和そば研究会		
重任	〃	鈴木幹男	分桜流・彩次郎蕎麦打ち会		
任期満了	監事	小森康弘	みや麺友会		理事へ
任期満了	理事	上田秀雄	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心		執行役員へ
任期満了	〃	梶川光二	分桜流・彩次郎蕎麦打ち会		執行役員へ
任期満了	〃	高瀬賢司	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心		執行役員へ
任期満了	〃	野島靖夫	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心		執行役員へ
任期満了	〃	鳥海修一	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心		執行役員へ
任期満了	〃	野木直衛	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心		
死亡	〃	小川英次	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心		2021. 3

理事定数20人中20人

NPO法人そばネットジャパン
令和 3 年度活動計画(案)

1 事業実施の基本方針

そばネットジャパン設立時からの基本理念である「会員のための会員による運営」・「会員の自主活動を尊重し、事業への参加も強制しない緩やかな連合組織」・「そば打ち愛好団体(個人)をネットで結ぶ」を遵守し、新生そばネットジャパン 2 年度目は「交流事業」・「地域文化の継承、地域活力の向上」・「そばづくりリストの育成」の 3 本の柱について基礎づくりに力点を置いて推進する。

- ① 交流事業については、既存の事業を継続発展させて実施するとともに、昨年度新規事業として開催した「ソバ栽培体験プログラム」について実施地域を拡大し、多くの会員が楽しみながら参加できる事業として定着させることとする。さらに、会員の要望を踏まえて新規の参加型交流モデル事業について検討を進める。
- ② 地域文化の継承、地域活力の向上については、具体的なモデル事業を実施した上で今後の事業の在り方を検証していくこととする。
さらに、そばによる地域活力の向上において具体的事例の紹介、成功例への顕彰などを進めていく。
- ③ そばづくりリスト技能検定は、昨年度、実施に対する基盤(検定規程、特任師範、師範、准師範、技能検定員の確保等)が一応整備され、検定会も 3 回実施できてその検証も進められており、今年度は会員主催の技能検定会を各地域にバランスよく開催できることを重点的に推進する。
さらに、そば打ち愛好者の発掘に最も効果的となる公認そば打ち教室の認証を進め、各教室との緊密な連携を取りながら公認そば打ち教室運営の課題等を把握し、公認教室の拡充の基盤づくりを図る。
- ④ そばづくりリストそば学検定については、昨年度そば学検定委員会を設置し 6 人の学識経験者を委員として委嘱して、現在、テキスト作成を依頼中であり、テキストができ次第受講生募集に入り、今年度中に学士検定を実施する。
- ⑤ 平成 30 年度から取り組んできた「そばロス ZERO」については、標語、川柳コンテストによるキャンペーンを始め、日ごろの技能検定会等での完全持ち帰り、そば打ち稽古での切りくず等を活用した料理コンテストなど、大切な食材である“そば粉”を食べることを広く普及させる活動を引き続き進めてまいります。

新型コロナウイルス感染拡大に関する対応について
《基本方針》

NPO法人そばネットジャパンは、日本のそば文化の継承・発展のために活動する非営利の法人であり、誇りをもって活動しなければならない。

したがって、事業の内容に応じた感染拡大防止対策を講じて実施することを基本とし、感染拡大の状況等により延期、中止も的確に判断する。

技能検定会や名人大会など、公営施設での事業は、施設側の対応に従って実施する。
例:施設側が求める感染防止対策で貸与される場合は、その対策以上(出場者、スタッフのウイルス抗原検査など)の対応で実施する。

1 交流事業

(1) ソバ栽培体験プログラム

手打ちそばの主要食材である“ソバ”を栽培から製粉まで体験をすることにより、日ごろ何気なく使用している食材としてのそば粉の大切さを学ぶこと、さらに、参加者の共同作業、土に親しむ喜びを共有することで多くな仲間との絆が生まれるものです。

昨年度は直轄モデル事業として桶川市の圃場及び会員開催の自主事業を後援として狭山市で開催したが、今年度は会員主催事業として開催地を募集します。

時 期 8月から11月(開催地域によって時期は異なる。)

会 場 会員から開催希望を募る

内 容 畑の整地、種蒔き、土寄せ、草刈、お花見、刈り入れ、乾燥、脱穀、製粉、そば打ち試食

参加者は、会員とその家族、その他市民活動者等

(2) 第4回全日本さらしなそば打ち名人大会の開催

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大による初めての緊急事態宣言発出があり、延期としたが結局開催はできず、第4回として開催します。

開催日 令和3年10月2日(土)

会 場 埼玉県県民活動総合センター

種 目 さらしな二八 変わりそば

(3) 第3回全日本そば打ちマスタース大会の開催

そば打ち大会への出場を生涯楽しみたいチャレンジャーのための年齢別そば打ち大会として開催します。

開催日 令和3年9月26日(日)

会 場 埼玉県県民活動総合センター

内 容

年齢	60～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～
クラス	SJ	S	SS	G	GG	GGG

(4) 第8回全日本創作そば料理コンテストの開催

例年2月11日に開催していましたが、そば料理コンテストは会場となる調理室で調理し、試食を伴うことから、コロナ禍が治まらない昨年度は中止としました。

今後のコロナ禍の収束状況にもよりますが、応募したレシピに基づいて各審査員が個別に調理、試食して審査をするなどのネットコンテストも含めた開催方法を検討します。

(5) 第11回会員そば打ち対抗選手権大会の開催

NPO 法人そばネット埼玉の名称では最後となる第10回大会はコロナ禍で延期し、昨年度末に規模を縮小して個人戦のみ開催しましたが、郷土そばの部を設けたことにより30名の参加者で盛況に開催することができました。

この大会は団体戦、ペア戦、個人戦で2日間で開催する会員による年度末大イベントとして定着しており、今年度末は皆で知恵と工夫を出し合っ安全で楽しい大会を開催することとします。

開催日 令和4年3月26日(土)27日(日)
会場 埼玉県県民活動総合センター
内容 団体の部、ペアの部、個人の部

2 地域文化の継承、地域活力の向上事業

(1) 戸隠そば文化交流事業の実施

一般社団法人戸隠観光協会との交流事業
(詳細を打ち合わせ中)

(2) 郷土そば文化の紹介事業

そばネットジャパン会員が推薦する地元のそば文化をHPを通じて紹介し、今後の交流事業の基礎作りとします。

(3) 郷土そば文化の発展、継承のための取り組みをしている団体を顕彰し、HPで紹介します。(会員の推薦等を募る。)

3 そばづくり技能検定事業

(1) 第1回そばづくり技能検定那須大会の開催

主催 那須手打ち蕎麦倶楽部
後援 NPOそばネットジャパン
開催日 令和3年6月20日(日)
会場 大田原市 ふれあいの丘多目的工芸館
検定段位 初段~四段

(2) 第1回そばづくり技能検定十勝大会の開催

主催 そばリンク十勝
後援 NPOそばネットジャパン
開催日 令和3年7月4日(日)
会場 新得町 町公民館
検定段位 初段~四段

(3) 第1回そばづくり技能検定長沼大会の開催

主催 あるよ馬追
後援 NPOそばネットジャパン
開催日 令和3年7月24日(土)25日(日)
会場 長沼町民会館
検定段位 初段~四段

(4) 第1回そばづくり技能検定常陸大宮大会の開催

主催 弥七そば研究会
後援 NPOそばネットジャパン
開催日 令和3年10月
会場 常陸大宮市内

(5) 第1回そばづくり技能検定茂原大会の開催

主 催 リソルの森蕎麦打ち倶楽部
後 援 NPOそばネットジャパン
開 催 日 令和3年10月
会 場 千葉県茂原市内

(6) 第1回そばづくり技能五段位(郷土そば)検定会の開催

そばづくり技能四段位認定者が100人を超えており、郷土そばに対する関心も高まってきていることからそばネットジャパンとして初めての五段位検定会を開催します。

主 催 NPOそばネットジャパン
開 催 日 令和3年11月28日(日)
会 場 埼玉県県民活動総合センター
内 容 そばづくり技能四段位認定者(他団体の認定者で四段位相当と認められた者を含む)で四段位認定後、そばネットジャパンで定めた期間を経過した者を対象とし、郷土そばの種類等については開催要項で公開します。

(7) 第2回そばづくり技能検定 in 沼田の開催

主 催 沼田そばの会
後 援 NPOそばネットジャパン
開 催 日 令和3年12月5日(日)
会 場 沼田市内
検定段位 初段~四段

(8) 第3回そばづくり技能検定埼玉大会の開催

主 催 NPOそばネットジャパン
開 催 日 令和4年1月15日(土)16日(日)
会 場 埼玉県県民活動総合センター
検定段位 初段~四段

(9) 第1回そばづくり技能デモンストレーター選考会の開催

そばづくり技能を養成するリーダーである師範、准師範の技能を保持、高めるため、段位ごとの選考により、デモンストレーターとして任命し、各地域のそばイベントで活躍していただくものです。

主 催 NPOそばネットジャパン
開 催 日 令和4年2月26日(土)
会 場 埼玉県県民活動総合センター
種 目 三段、四段、五段、六段課題

(10) 第4回そばづくり技能検定埼玉大会の開催

主 催 NPOそばネットジャパン
開 催 日 令和4年3月5日(土)6日(日)
会 場 埼玉県県民活動総合センター
検定段位 初段~四段

(11) 公認そば打ち教室認証の拡大

手打ちそばの普及には、そば打ち教室を開催することが効果的であり、団体正会員が主催して行うそば打ち教室を支援するため、一定の要件を満たす教室をそばネットジャパン公認教室として運営の支援を行う。

(12) そばづくりスト指導者養成講座の開催

公認そば打ち教室の拡充には、指導者となる師範、准師範の確保が急務であり、そばづくりスト高段位(四段以上)を受検し、師範、准師範を目指す会員を対象に開催します。

実施時期 年間で1期6回(月2回)を木曜2コース、土曜コースで4期開催
会場 そばネットジャパン本部事務所

※ 当面、ジャパン本部で継続するが、北海道本部など地域ブロックごとに開催できることを進める。

(13) 師範、准師範、技能検定員の任命

そばづくりスト技能検定を発展させていくには、この制度を理解し自らがリーダーとして活躍していただく多くの師範、准師範、技能検定員が不可欠であり、令和2年度にそばづくりスト検定基本規程の附則に定めた特例規定により、62名の師範、准師範、技能検定員を任命することができた。

令和3年度からは会員主催の技能検定会が順次開催しておくことになり師範、准師範、技能検定員の拡充を図っていきます。

4 そばづくりストそば学検定事業

スケジュール予定

- 2021年5月 各講師にテキスト執筆依頼
- 2021年7月 テキスト原稿集約 印刷発注
- 2021年7月 受検要項公開、受検生募集開始
- 2021年9月 科目別講義(集合或いはビデオ配布)
- 2021年11月 筆記試験配布 回答受付 採点
- 2022年1月 そば学検定員会で採点結果により学士号選考 理事会に具申
- 2022年2月 理事会で学士号授与者議決、代表理事名で学士号授与(郵送)

5 「そばロス ZERO」の普及

今、世界では食料危機への対応が急務とされていながら、日本でも年612万トン(令和2年4月農林水産省推計)の食品ロスの減量について、官民あげて対策に取り組んでいます。

私たち「NPO法人そばネットジャパン」は令和2年度から大切な食材である“そば粉”を無駄にしないことを十分理解して活動することを表明し、標語、川柳などのコンテストを始め、打ったそばで生ずる切りくずを活用した料理コンテストの開催などを実施してまいりました。

引き続き、あらゆる事業に「そばロスZERO」を徹底するよう進めてまいります。

6 子供そば打ち体験教室(食育事業)

毎年、直轄事業として小学生の親子を対象に、「手打ちそば」という正に手作りの料理の楽しさ、美味しさ、食材の大切さを実感していただくための「そば打ち体験教室」を開催し

てまいりました。

今年度からは、会員が主催する「子供そば打ち体験教室」について公募し、級認定証の交付、助成金等で支援してまいります。

7 活動顕彰(そばパートナーズ)事業

昨年度から開始したそばパートナーズ顕彰は、前年度末で一定の単位数に達した会員にそばパートナーズの称号を授与します。

今後、この制度が会員活動の励みになるよう単位項目の精査を含めて進めてまいります。

8 物品販売等事業

直販等

バンピー麺棒及びそばづくりリスト技能研修用のビデオ作製、販売を継続するとともに、技能検定用ビデオ、そば料理レシピ集など会員にとって有益な物品を販売します。

書籍・そば道具等の紹介

そば学、そば打ち技能、そば粉、そば道具等、NPOそばネットジャパン会員に有益な商品の紹介をします。

9 きめ細かな情報交流の推進

NPO 法人そばネットジャパン会員は現在 50 の団体正会員と 180 人の個人正会員、さらに 7 社の賛助会員ですが、団体正会員の構成員を含めると 1000 人規模となります。そばネットジャパンが組織力を発揮し、活力ある活動を継続していくには、迅速で正確な情報を共有することが最も大切です。

そのためには、多角的な情報システムの構築が必要で、相当の費用も必要になります。

幸い、そばネットジャパンの会員には、多種多様の職業(現役や元職)経験者が豊富であり、情報システム設計やコンピューター機器の技術者も含まれていることからそれら会員の支援を受けながらNPOそばネットジャパンに適したシステム化を図ることを進めるため、今年度にシステム推進員会を設置して検討を進めております。

現時点でのシステム化目標として

(1) 会員情報システム

団体正会員、個人正会員、賛助会員の入退会、会費、変更処理などが迅速・正確に管理できるシステムを構築する。

(2) 段位認定者情報システム

技能検定会の採点システム、特に、今後会員主催の検定会が全国各地で開催れることで、迅速で正確な採点処理、合否判定、認定証、成績票の交付等が簡便に行えるシステム

(3) ホームページ活用戦略

NPOそばネットジャパンの名称に「ネット」が入っていますが、設立当初から広域圏の会員を想定してインターネットを活用するということと、「網状のきめ細かい交流」をイメージしています。

全国組織となればなおさらインターネット活用が不可欠で、会員との接点の第 1 はホームページ(以下「HP」)となります。

したがって、「いつでも、どこからでも会員に必要な情報を見ることができる。」「見やすく、見て楽しい」、例えば、そば打ちやそば料理などの解説ページや動画が見られたり、

会員が事業に参加したり、各種届け出がHPから 24 時間できる。

さらに、会員外の方が見て「NPOそばネットジャパンの会員になってみたい。」
そんなHPを目指します。

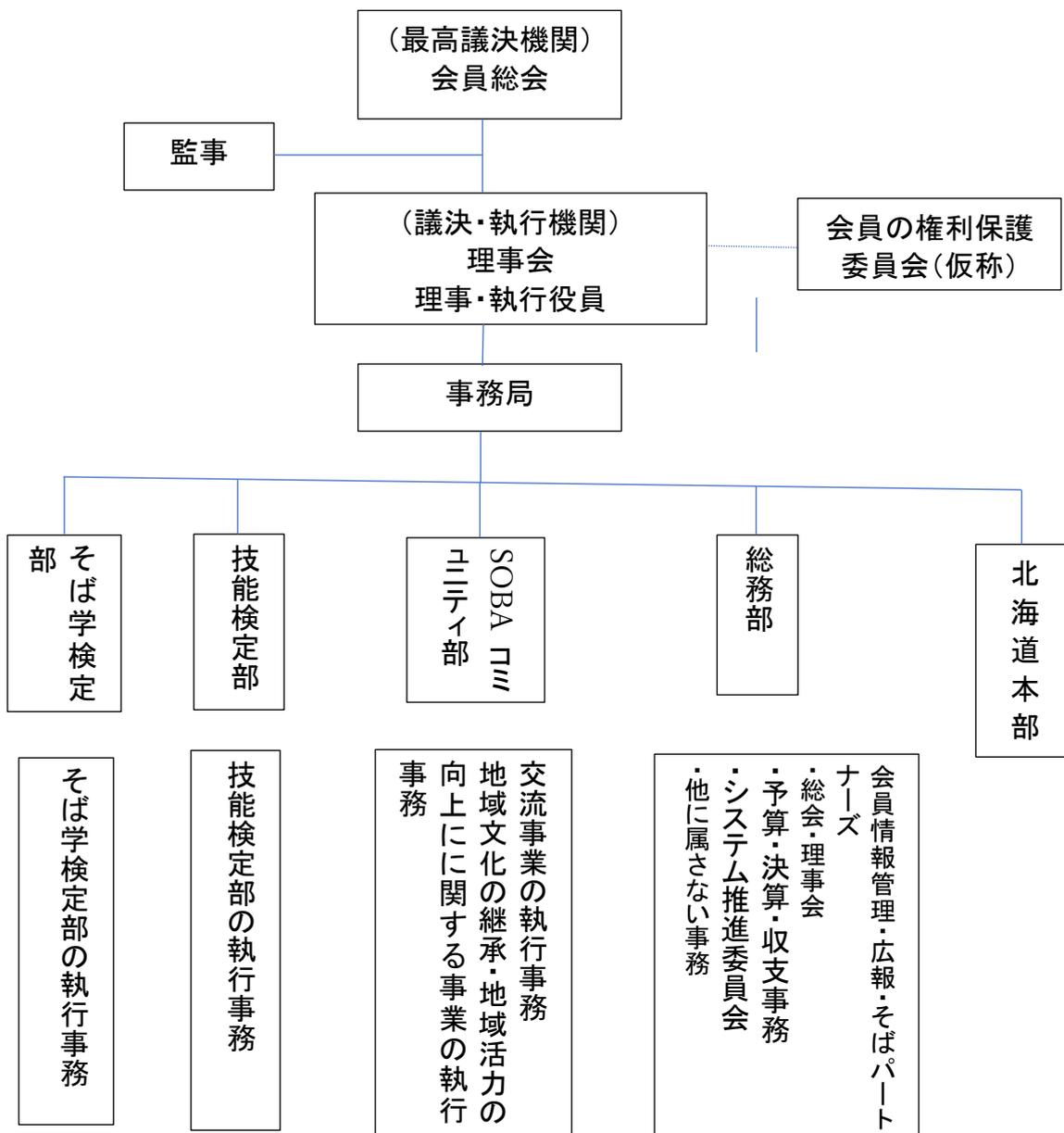
(4) SNSを活用した広報戦略

近年、ツイッター、LINE、Facebook、ユーチューブ、インスタグラムなどが溢れています。

全ての会員とのきめ細かく正確な情報通信には活用はできませんが、NPOそばネットジャパンの事業などを多くの人々に知っていただくための広報媒体としては費用もそれほど掛からず有効であり積極的に活用します。

現在も、事業に参加した会員がFacebookなどに投稿しており、会員の活用も期待します。

10 NPO法人そばネットジャパン組織図



第5号議案

令和3年度 NPOそばネットジャパン 活動予算書(案)

令和3年4月1日 から 令和4年3月31日

I 収入の部

(単位:円)

勘定科目			令和3年度 予算額	令和2年度 決算額	差額	付 記
大科目	中科目	小科目				
1 会費収入						
団体会員会費			550,000	500,000	50,000	55団体
個人会員会費			400,000	360,000	40,000	200人
賛助会員会費			40,000	35,000	5,000	8団体
会費収入計			990,000	895,000	95,000	
2 事業収入						
総会収入			0		0	
伝道師制度	技能検定	技能検定会①	520,000	631,000	-111,000	受検者80人 初段-四段
		技能検定会②	520,000	471,360	48,640	受検者80人 初段-四段
		技能検定会③	420,000	0	420,000	受検者60人 五段-六段
		技能検定会④	0	0	0	
	小計		1,460,000	1,102,360	357,640	
	段位認定料		2,000,000	1,019,000	981,000	直轄技能検定220人 会員技能検定30人×6会員
	学術検定		1,000,000	0	1,000,000	受講料 テキスト代
	各種研修会		300,000	1,621,000	-1,321,000	師範等特任研修会20人×1回 師範等研修会20人×1回
	その他		0	0	0	デモンストレータ選考会
計		4,760,000	3,742,360	1,017,640		
交流事業	そば学講座		300,000	0	300,000	講座受講料
	指導者養成講座		1,890,000	1,337,000	553,000	受講者30人×3期分
	全日本さらしなそば打ち名人大会		280,000	0	280,000	参加者30人
	全日本そば打ちマスターズ大会		320,000	295,580	24,420	参加者40人
	全日本創作そば料理コンテスト		0	0	0	未定
	会員対抗そば打ち交流大会		420,000	214,100	205,900	個人40人 団体20組 ペア10組 参加料6千円
	県民活動総合センターイベント		270,000	0	270,000	フェスティバル 手打ちそば教室
	地域交流会		300,000	108,500	191,500	戸隠 参加者30人 参加料1万円
	そば粉等の販売		2,000,000	1,483,706	516,294	
	道具等の販売		825,000	643,700	181,300	バンピー麺棒250本
	図書等の販売		50,000	37,200	12,800	パートナーズ手帳他
DVD等の販売		1,330,000	0	1,330,000	特任師範DVD400枚	
計		7,985,000	4,119,786	3,865,214		
食育活動収入	子供そば打ち体験教室		50,000	0	0	直轄(大人30人 子供25人)
計		50,000	0	0		
事業収入計			12,795,000	7,862,146	4,932,854	
3 助成金収入			0	2,100,000	-2,100,000	
4 寄付金収入			0	0	0	
5 繰入金			250,000	241,366	8,634	
6 雑収入			0	20	-20	
当期収入合計 (A)			14,035,000	11,098,532	2,936,468	
前期繰越収支差額 (B)			1,324,518	2,376,463	-1,051,945	
収入合計 (C)=(A)+(B)			15,359,518	13,474,995	1,884,523	

II 支出の部 (1/2)

勘定科目			令和3年度 予算額	令和2年度 決算額	差額	付 記
大科目	中科目	小科目				
1 事業費						
	総会		10,000	11,720	0	
伝道師制度	技能検定	技能検定会①	450,000	537,516	-87,516	施設利用料 検定員交通費 道具賃貸料等
		技能検定会②	450,000	440,171	9,829	施設利用料 検定員交通費 道具賃貸料等
		技能検定会③	450,000	0	450,000	施設利用料 検定員交通費 道具賃貸料等
		技能検定会④	0	0	0	
	小計		1,350,000	977,687	372,313	
	段位認定		180,000	22,980	157,020	認定料手数料等 30人×6会員
	学術検定		150,000	172,075	-22,075	会議費等
	各種研修会		300,000	1,498,645	-1,198,645	施設利用料 特任講師報酬・交通費 道具賃貸料等
各種部会		100,000	0	100,000	交通費等	
その他		0	0	0	デモンストレータ選考会	
計			2,080,000	2,671,387	-219,074	
交流事業	そば学講座		270,000	0	270,000	施設利用料 特任講師報酬・交通費等
	指導者養成講座		1,000,000	526,398	473,602	講師交通費 各種消耗品等
	全日本さらしなそば打ち名人大会		280,000	0	280,000	施設利用料 審査員報酬・交通費 道具賃貸料等
	全日本そば打ちマスターズ大会		300,000	516,163	-216,163	施設利用料 審査員報酬・交通費 道具賃貸料等
	全日本創作そば料理コンテスト		0	0	0	未定
	会員対抗そば打ち交流大会		400,000	500,959	-100,959	施設利用料 審査員交通費 道具賃貸料等
	県民活動総合センターイベント		240,000	0	240,000	フェスティバル そば打ち教室
	地域交流		200,000	184,706	15,294	戸隠
	そば粉等の仕入		2,700,000	2,155,761	544,239	
	道具等の仕入		100,000	986,600	-886,600	ユニホーム等
	図書等の仕入		100,000	52,470	47,530	
	DVD等の仕入		100,000	0	100,000	DVD製作費
計			5,690,000	4,923,057	496,943	
食育活動支出	子供そば打ち体験教室		240,000	0	0	会員開催助成金20万円
計			240,000	0	0	
そばロスZERO推進			20,000	0	20,000	
事業費計			8,040,000	7,606,164	433,836	

II 支出の部 (2/2)

勘定科目			令和3年度 予算額	令和2年度 決算額	差額	付 記
大科目	中科目	小科目				
2 管理費						
事務所賃借料			561,000	540,700	20,300	12ヵ月分 事務所分担金 コンテナ倉庫
旅費交通費			250,000	225,120	24,880	
光熱水費			60,000	52,132	7,868	12ヵ月分 事務所分担金
廃棄物処理料			92,400	92,400	0	12ヵ月分
備品			0	0	0	
リース料			83,160	83,160	0	
消耗品費			700,000	1,096,669	-396,669	
手数料			65,000	65,104	-104	
通信費			280,000	298,763	-18,763	
税理士報酬			418,000	341,000	77,000	12ヵ月分 令和3年度法人税・消費税報告書
保険料			55,000	54,607	393	
人件費			1,500,000	1,429,410	70,590	
会議費			60,000	63,010	-3,010	
管理費計			4,124,560	4,342,075	-217,515	
3 負担金等						
商店会費			10,000	10,000	0	令和3年度年会費

負担金計	10,000	10,000	0	
4 交際費	30,000	39,233	-9,233	
5 租税公課				
法人県民税	20,000	20,000	0	令和2年度分
法人市民税	50,000	50,000	0	令和2年度分
消費税	57,300	-115,494	172,794	令和2年度分
源泉所得税他	200,000	198,499	1,501	講師報酬 商標登録関連印紙代等
租税公課計	327,300	153,005	174,295	
6 返還金	0		0	
7 予備費	2,827,658		2,827,658	
当期支出合計 (D)	15,359,518	12,150,477	3,209,041	
当期収支差額 (E)=(A)-(D)	0	-1,051,945	1,051,945	
次期繰越収支差額 (F)=(C)-(D)	0	1,324,518	-1,324,518	
支出合計 (D)+(F)	15,359,518	13,474,995	1,884,523	

F=現在残高

NPO法人そばネットジャパン 団体正会員名簿

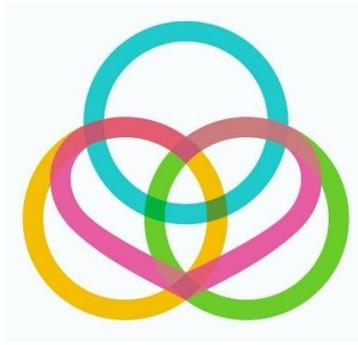
2021/5/16

NO	団体名	代 表 者	〒	所 在 地
1	足利蕎遊庵	根本 忠明	326-0817	足利市西宮町2 5 4 9
2	あるよ馬追	中野 政光	069-1331	夕張郡長沼町銀座南1-9-14
3	いるま蕎麦打ち倶楽部	城 幸夫	358-0013	入間市上藤沢406-30-1
4	浦和そば研究会	秋谷 信一	330-0063	さいたま市浦和区高砂4-6-2
5	小山手打ちそばの会	北山 正一	323-0007	小山市松沼518-8
6	久喜そば倶楽部	田中 憲一	340-0143	幸手市長間144番
7	NPO法人 熊谷そば打ち会	高橋 侑一	360-0037	熊谷市筑波1-49
8	圏央手打ちそばクラブ	樋口 正一	365-0024	鴻巣市常光1 3 2 2
9	さいたま蕎麦打ち倶楽部新都心	飯田 良男	331-0843	さいたま市大宮区吉敷町4-261-5
10	GRそば打ち倶楽部	相原 喜代治	270-1164	我孫子市つくし野6-15-6
11	渋川そば打ち倶楽部	岸 光男	377-0006	渋川市行幸田3 2 1 9-9
12	16そばの会	朝賀 俊文	365-0059	鴻巣市糠田2 8 4 3-2
13	松愛会そば打ち倶楽部	鈴木 昭夫	329-1103	宇都宮市東岡本町7 4 2-1 9 5
14	信州小諸 峰の蕎麦会	大池 久男	384-0022	小諸市松井1-1-27番地
15	杉戸麵打愛好会小川道場	小川 伊七	345-0037	杉戸町本島619
16	せいち庵そば打ち倶楽部	生沼 聖司	306-0234	古河市上辺見651
17	西部蕎麦連	小山 周三	359-1101	所沢市北中4-356-10
18	瀬戸口麵打愛好会草加共生塾	瀬戸口 公子	340-0023	埼玉県草加市谷塚町1 8 7 8-1
19	蕎麦打ち塾 雲水	遠藤 芳孝	226-0005	横浜市緑区竹山2 4 0 1-1 4 7
20	そば打ち道場 和楽	古川 モト子	337-0053	さいたま市見沼区大和田町1-1469-8
21	そば工房平井	中村 栄二	132-0035	東京都江戸川区平井3-19-18
22	そば塾花かつみ	山口 仁	963-8001	郡山市大町2-15-2 ハートビル4F
23	蕎麦道楽 野田武八会	春日 良一	278-0051	野田市七光台405-108
24	そばネットひたち	村田 勉	316-0011	日立市塙山町1-30-6
25	蕎麦の会「みかど」	海老沼 英男	321-0214	壬生町壬生甲3 2 0 4-4
26	そばリンク道南	溝江 秀次	041-0808	函館市桔梗5丁目1 3-5 2
27	そばリンク 十勝	折笠 政弘	089-0614	北海道中川郡幕別町緑町4 0-1 2
28	伊達手打ちそばの会	篠原 智子	052-0014	北海道伊達市舟岡町3 4 9-1 7
29	達磨工房秋そば倶楽部	富田 政博	361-0032	行田市佐間2-10-27
30	秩父そば打ち倶楽部 蕎楽館	上石 良雄	368-0031	秩父市上野町2番16号
31	つくば蕎麦愛好会	浅見 周司	305-0842	つくば市柳橋4 9 6 みずほの村市場内
32	土浦蕎麦同好会	武藤 剛	300-0341	稲敷郡阿見町うずら野2-2 2-2 8
33	手打ちそば伸己香味	小笹 伸	463-0051	名古屋守山区小幡太田1-8アーバンラフレ小幡5-1108
34	東武そば打ち同好会	伊藤 敏一	345-0025	杉戸町清地2-10-7
35	野老澤そば打ち会	岸 正明	359-0021	所沢市東所沢3-19-4-3 0 3
36	常路麵打ち愛好会	新寄 照幸	359-1101	所沢市北中4-356-10
37	那須手打ち蕎麦倶楽部	中原 利敬	329-3155	那須塩原市笹沼字川原向436-59
38	日光落合手打ちそばの会	福田 信一	321-1107	日光市小代2 8 9-1 6 0
39	沼田そばの会	宮田 優一	378-0076	沼田市秋塚町1 1 3
40	野木手打ち蕎麦愛好会	町井 寛	329-0101	下都賀郡野木町友沼4 6 4 5-4 7
41	美食そば打ち会	工藤 春男	350-2213	鶴ヶ島市脚折110-7
42	北彩そばの会	渡辺 俊文	369-0113	鴻巣市下忍3 4 4 2
43	満志粉組	益子 正巳	312-0002	ひたちなか市高野3 2 6 7
44	みや麺友会	小森 康弘	329-1104	宇都宮市下岡本町4 5 2 5-2
45	妻沼そば打ち会	三浦 洋三郎	360-0224	熊谷市日向1 3 5 4-1 8
46	(有)森ファームサービス	森 雅美	306-0128	古河市上片田420
47	弥七そば研究会	長嶋 光行	319-2414	常陸大宮市吉丸5 4 5-2
48	遊蕎塾	根本 森夫	313-0131	常陸太田市花房町0 5
49	リソルの森蕎麦打ち倶楽部	代市 一夫	297-0017	茂原市東郷8 6 4-2 1
50	傾家そば愛好会	針谷 努	330-0072	さいたま市浦和区傾家7-4-5
51	分桜流・彩次郎蕎麦打ち会	渡部 隆夫	347-0063	加須市久下2-31-2

NPOそばネットジャパン 賛助会員名簿

団 体 名	代 表 者	〒	所 在 地	電 話	営 業 内 容
岡本木工所	岡本 繁樹	364-0005	埼玉県北本市本宿3-4-8	048-591-2309	そば道具製造・販売
笛木醤油株式会社	笛木 弘治	350-0152	埼玉県比企郡川島町上伊草660	049-297-0041	醤油製造販売
有限会社中村豊蔵商店	中村 要一	965-0003	福島県会津若松市一箕町八幡坂下甲1402	0242-22-1554	そば道具製造・販売
株式会社そばの坂本	坂本 勝之	074-0403	北海道雨竜郡幌加内町字下幌加内	0165-35-3211	そば栽培・製粉・販売
みなみ製粉株式会社	太田 道郎	005-0849	北海道札幌市南区石山612番地	011-591-1429	そば粉等製粉・販売
株式会社セキカワ	関川 徳雄	959-1288	新潟県燕市燕3395-73	0256-62-5825	そば道具製造・販売
株式会社 一孝庵	箱崎孝治	651-1511	神戸市北区長尾町宅原2-8-5	078-203-2290	玄そば、そば粉販売

2021.6.1



NPOそばネットジャパンシンボルロゴ

ブルーが交流の輪、イエローが地域そば文化、グリーンがそばづくりリスト

3つの輪が重なった中心にハート(心)が浮かぶ

(廣瀬 力作 NPOそばネットジャパン顧問デザイナー)

そばロス ZERO タイトル・標語・川柳募集キャンペーン 優秀作品

タイトル部門

広げよう！「そばロス」ゼロ

標語部門

捨てるまい「そば打ち心」と「自然の恵み」

川柳部門

切りくずも ひと手間かければ 別料理

NPO法人そばネットジャパン

(特定非営利活動法人そばネットジャパン)

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町 4-261-5

TEL 048-644-4466

FAX 048-885-7757

URL <http://www.sobanetjapan.com/>

E-mail npojapan@sobajapan.com